

おうち練習サポートします!

第1回

繰り返し聴くことで曲を覚える おうち練習用CDの効果

ピアノ講師：躰井 野衣

上達のために絶対に欠かせないもの、それは「練習」ですね。

それも、週に一度の音楽教室でのレッスンだけではなく、

自宅での自主練習が実はとても大事。

生徒に「おうちでもレッスンしよう!」と思わせるにはどうすれば.....??

ピアノ講師として活躍する躰井野衣さんが、個人教室や出張レッスンの経験からたどりついた“おうち練習サポートツール”はCD-2eでした。

躰井さんのエッセイ風レッスンの提案、今月号から3回にわたっての連載です。



SD/CDレコーダー CD-2e

製品の詳細についてはローランド・ホームページをご覧ください。
<http://www.roland.co.jp/>

それは

お母さんの悩み相談から始まった

「毎日練習しなさいって子供とケンカするのがイヤなんです」

「この子にピアノは向いていないのかしら...」

「ピアノがこんなに大変なものだとは思わなかった」

親御さんの悩みを聞くたび「もう少し根気強く長い目で見守りませんか?」という本音をぐぐっと飲み込み笑顔を作る。生徒のレッスンから、その週の生徒宅の状況が垣間見える毎日と思うこと。

おうちでの練習を

お手伝いできないかなあ.....

そうしたら、「生徒が先週より弾けなくなってる」とか、「今週も先週と同じことを注意しなきゃいけない」とか、「ノートには練習したって書いてあるけど???」と思うことも減るのではなからうか。

練習の仕方が効果的でないばかりに、生徒も親も辛くなってピアノを辞めてしまうのはとても残念。忙しい現代っ子には、なんとか短時間で効率のよい練習をして欲しいというのが切なる願いだ。

そうだ!

練習CDを作ったらどうだろう!?

毎日の練習ができない子には、お手本演奏のCDを作ってあげて、お母さんに「このCDを毎日かけてください」とお願いすれば、曲が自然と入ってくるかも。

通し練習しきれない子には、部分練習用CDを作れば、苦手なところだけやってくるかも。

聴音の時間が取れない子には、CDにして宿題にすればレッスン時間が足りるかも。

声部の弾き分けのできない子には、一声部ずつ録音して歌わせてみたら.....。

淡い期待をしこたま抱いて、生徒にあわせた「おうち練習用CD」作成を開始。

といっても、機械音痴の私がパソコンからCD作成なんてできるはずもなく.....。そこでフル活用したのがCD-2e。高性能のステレオ・マイクが内蔵されているので、ラジカセ感覚で演奏を録音でき、簡単にCDに焼くこともできるというスグレモノだ。生徒は自宅に持ち帰って、CDラジカセやパソコンで再生しながら練習できる。

先日もこんなことがあった。発表会を目前に控えたSくん(幼稚園・年長)。だけど曲がまだ決まっていない。「何が弾きたい?」と聞いても、いつも「別に」しか言わない。こりゃまずい!そこで、「楽譜を見ながら好きな曲を選んでね」と3~4曲の楽譜とそれを私が弾いて録音したCDを渡した。曲に対する興味があまりなく譜読みが好きじゃない子なので心配したが、次の週のレッスンでは「この曲気に入った」と言ってスラスラと弾いてみせた。「別に」と興味なさそうにしていた彼は何だったんだ!?お母さんいわく「先生からいただいたCDで曲を聴いて、耳から入ったのが良かったみたい」とのこと。よしよし、さっそくおうち練習用CDの効果があられた。

つづく

プロフィール

躰井 野衣(つづい やえ)



国立音楽大学ピアノ教育専修を首席で卒業。海外研修奨学金授与。岡本賞受賞。社団法人全日本ピアノ指導者協会に本部スタッフ勤務後、ヤマハミュージックストア荒井個人講師を経て、現在Pスタジオ音楽教室講師他、各地で出張レッスン、伴奏を中心に活動。これまでに、ピアノを芝治子、江崎光世、近藤伸子、小田野慶子の各氏に師事。声楽を清水和子氏に師事。カナダモントリオールミュージックキャンプにてPatrice Lare、Victoria Kasutoより、公開レッスンにてK.シルデ、K.ヘルヴィツヒ、トゥーシャ・E、イリーナ・イワノワの各氏よりレッスンを受ける。